

## 応募方法

### 1. 提出物：

- (1) エントリー用紙、原稿（弁論の部に出場の方）
  - (2) 録音したもの（MP3、WMA のファイルなど）
- ※ Windows 標準メディアプレーヤーで再生可能な形式

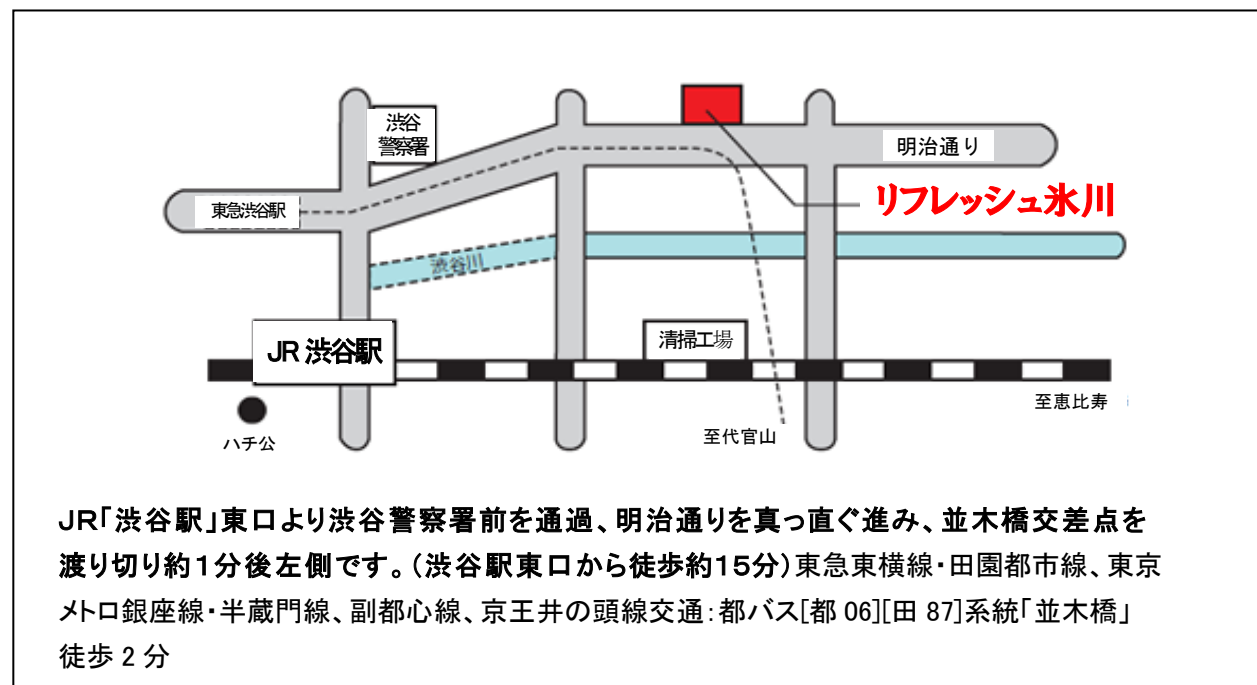
### 2. 提出方法：

- (1) 郵送（〒113-0033 文京区本郷 3-4-5 ハイムお茶の水 702 号）  
NPO 法人東京都日中友好協会 宛
- (2) メール to-nicchu@jcfa-tyo.net

### 3. その他

- (1) 提出いただいたものは返却することができません。あらかじめご了承ください。
- (2) 出場弁士より提出された原稿は、内容集にして大会当日に頒布いたします。あらかじめご了承ください。
- (3) 大会当日の映像および音声は、当協会の中国語普及活動のために使用させていただきます。あらかじめご了承ください。

### 会場地図



# 第42回 全日本中国語スピーチコンテスト 東京大会

日本における中国語学習の普及と質の向上、および日中両国国民の相互理解と友情に寄与することを目的として始まったスピーチコンテストは、今年で42回目を迎えました。

今大会もこれまでと同様に、弁論の部および朗読の部の優勝者を、東京都代表として全国大会に推薦します。全国大会入賞者には、数々の賞が用意されていますので、是非あなたも参加して日頃の学習成果を発揮してみませんか？どうぞ奮ってご応募ください。

日時：2024年9月28日（土）

会場：渋谷区リフレッシュ氷川 集会室（渋谷区東1-26-23）

部門：第一部 朗読の部〈課題文制〉

第二部 弁論の部〈自作原稿〉

参加費：500円（一次審査通過者のみ）

申込締切日：2024年8月26日（月）必着

主催：認定NPO法人東京都日中友好協会／渋谷区日中友好協会

後援：中国大使館（申請中）／北京市人民对外友好協会

協賛：株式会社新橋亭／亜東書店／東方書店／日中学院

お問合せ：tel:03-3295-8241 fax:03-3295-8255 e-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net

	<b>第一部 朗読の部 全国大会予選</b>
日 時	<b>9月28日(土)</b>
会 場	<b>渋谷区リフレッシュ氷川</b>
部門及び参加資格	<p>東京都内に在住、在勤、在学の方。</p> <p>※公益社団法人日中友好協会からの通達により、<u>今大会より「朗読部門内で部は設けず、年齢に関係なく中国語学習初心者」を対象</u>とし、全国大会事務局より提供する<u>ひとつの課題文</u>で最も優秀な成績を収めた<b>1名</b>を全国大会へ推薦いただくことになります。</p> <p>※但し、次の各項に該当する方は<u>出場できません。</u>  ※上記1・2・3部門の共通条項  ① 日本国籍を有しない者。  ② 中国語を母語(*注1)とする者。  ③ 両親のいずれかが中国語を母語とする者。  ④ 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者。  ⑤ 中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在(含・留学)(注2)した経験のある者  ⑥ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者。  ⑦ 高校、大学、専門学校において中国語を専攻している者(過去に専攻していた者も含む。)の中で都道府県大会出場時に学習期間が<b>2年を超えている者。</b>  ⑧ 専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習)の中で都道府県大会出場時に学習期間が<b>4年を超えている者。ただし、60歳以上で初めて中国語学習を始めた者は学習期間を問わない。</b>  *注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)  *注2 オンライン留学は含まず</p>
審査基準	発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。 *発表時は原稿を持ち込み可。暗唱を推奨。パフォーマンスは加点の対象外。
発表内容	<b>課題文制。</b> ※課題文は認定NPO法人東京都日中友好協会にご請求ください(tel、fax、e-mail可)。 または当協会HPからダウンロードしていただいても結構です。
原 稿	主催者の指定した課題文
応募規定	一人1部門のみ
応募方法	①エントリー用紙と課題文を録音したものを <b>8月26日(月)必着</b> で送付願います。 ②音声で一次審査を行います。審査を通過した方には <b>9月10日(火)</b> までにご連絡します。
送付方法	送付方法は4ページをご覧ください。
表 彰	高得点者を表彰し、最優秀者は全国大会に推薦します。

	<b>第二部 弁論の部</b>	
日 時	<b>9月28日(土)</b>	
会 場	<b>渋谷区リフレッシュ氷川</b>	
部門及び参加資格	<p>東京都内に在住、在勤、在学の方。</p> <p><b>1.「大学生・大学院生の部」(専門学校生含む。) 2.「高校生の部」 3.「一般の部」</b>  ※但し、次の各項に該当する方は<u>出場できません。</u>  ※上記1・2・3部門の共通条項  ① 日本国籍を有しない者。  ② 中国語を母語(注1)とする者。  ③ 両親のいずれかが中国語を母語とする者。  ④ 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中、在学した、卒業した者。  ⑤ 中国語を日常語とする地域に通算13ヶ月以上留学(注2)または滞在したことのある者。  ⑥ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者。  ⑦ 過去、全国大会において優勝した者。  *注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)  *注2 オンライン留学は含まず</p> <p><b>【高校生の部】のみの出場不可条項</b>  ①日本の高校に在学していない者</p> <p><b>【一般の部】のみの出場不可条項</b>  ① 2009年4月2日以降に生まれた者(すなわち中学生以下)。  ② 大学、大学院、専門学校(専門学校については大学生部門条項*注4を参照)に在学している者。(ただし、出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない)。</p> <p><b>【大学生の部】のみの出場不可条項</b>  ① 日本の大学(注3)、大学院、専門学校(*注4)、高専4年生以上に在学していない者。  ② 出場時の年齢が30歳以上の者(「一般部門」から出場すること)。  *注3 短大、文科省指定の外国大学日本校を含む  *注4 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す。</p>	
審査基準	<p>「高校生の部」「一般の部」「大学生・大学院生の部」(専門学校生含む。)共通  ・各人のスピーチ(原則として原稿は見ないこと)と審査員による質疑応答(1分前後)を行う。</p> <p>① 正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか。※歌などのパフォーマンスは不可。  ② テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か。  ③ 内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか。</p>	
発表内容	<p>制限時間は5分以内(テーマは自由)  参考までに昨年の全国大会における受賞者のテーマを以下に記載します。  大学生部門:「心の橋をかける震災紙芝居」「伝える優しさ」と「伝えない優しさ」「違う形での恩返し」  高校生部門:「競技から友情へ:私の学びの旅」「民間交流の重要性」「私の思い描く言語の世界」  一般部門:「中国の方言の魅力:表情豊かな中国文化」「結婚と国際交流」  「娘は母親にとって心をぽかぽかと温めてくれる「どてら」のようなものだ」</p>	
原 稿	<p>中文・日本語訳文とも提出(中文1,000字以内)。一度提出された原稿の訂正には応じかねます。  <b>発表原稿は過去未発表のものであること。</b></p> <p><b>中国語原稿作成の場合</b>  ① 用紙はA4を使用すること。  ② 1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。  ③ 2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、中国の漢字を使用する。  ④ 3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。</p>	<p><b>日本語原稿作成の場合</b>  ① 用紙はA4を使用すること。  ② 1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。  ③ 2行目に右詰で氏名を記入する、ただし、日本の漢字を使用する。  ④ 3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。</p>
応募規定	一人1部門のみ	
応募方法	①エントリー用紙、原稿と原稿を録音したものを <b>8月26日(月)必着</b> で送付願います。 ②音声で一次審査を行います。審査を通過した方には <b>9月10日(火)</b> までにご連絡します。	
送付方法	送付方法は4ページをご覧ください。	
表 彰	<p>・東京都日本中国友好協会会長賞 1名  ・中国大使館賞1名  ※ 各部門の最優秀者を東京都代表として、全国大会に推薦します。  ★ 全国大会は<b>2025年1月12日(日)</b></p> <p>・北京市人民対外友好協会賞 1名  ・優秀賞、特別賞 若干名</p>	